

各 位

公益社団法人 畜産技術協会
会 長 石原 哲雄
[公 印 省 略]

「OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修」の開催について

時下ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会の事業の実施につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、令和 4 年度畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業 畜産・酪農生産力強化対策事業 繁殖性等向上対策事業〔技術力向上のための研修(畜産技術者の養成)〕を実施しており、その中で先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を別紙開催要領により開催することとなりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ですが、研修会の趣旨をご理解いただき、関係者にご案内していただきますようお願い申し上げます。

また、標記研修会への参加のご希望がございましたら、11 月 10 日(木)までに当協会までお申込み下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 : 令和 4 年 12 月 6 日(火) 9:00~17:30 (8:30~受付)
- 2 場 所 : 酪農学園大学動物医療センター
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地
- 3 内 容 : 別添開催要領のとおり

問 合 先
公益社団法人 畜産技術協会 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9 TEL : 03-3836-2301 E-mail : oubu@jlta.jp
担当者 : 管理部 企画課 渡邊

令和4年度畜産・酪農生産力強化対策事業(令和3年度補正)
繁殖性等向上対策事業〔技術力向上のための研修(畜産技術者の養成)〕

『OPU-IVFによるウシ胚生産における技術者研修』

於：酪農学園大学

開 催 要 領

1 目 的

(1) 事業目的

畜産・酪農の生産力強化を図るためには、地域の課題となっている繁殖性の向上や子牛の損耗防止等の技術的な問題を改善していくことが必要となる。

そこで、本事業では、先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関(畜産試験場、大学等)に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を開催する。

(2) 研修会目的

近年急速に普及しつつある生体内卵子吸引一体外受精(OPU-IVF)によるウシ胚生産技術のさらなる普及を目的として、OPUの未経験者から実施者までを対象としたOPU及びIVFに対する知識と手技の習得を目標とする。

受講者は講義によりOPU-IVFの理論と現状の普及状況を身につけ、と体生殖器を用いた実習により基本的な超音波診断装置による卵巣の観察、卵巣及びプローブの操作を習得し、さらに獣医師のうち希望者は生体で超音波診断装置によるOPU技術を実施することで、より深く技術の理論の習得を目指すものである。

一方、その他の獣医師及び家畜人工授精師には採取した卵子の検索、体外成熟培養、体外受精及び体外培養の要点を中心として実習を行い、OPUをサポートする技術力の獲得を目標とする。また、研修会の中で日常業務における疑問点や繁殖に関連する新技術などへの要望についても対応する。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で対面による研修が実施できない場合も考えられるため、ウェブによる遠隔講義・実習の形式も準備し、対面及びウェブによるハイブリッド開催とする。

2 主 催 公益社団法人 畜産技術協会

3 開催日時及び場所

(1) 日 時 令和4年12月6日(火) 9:00~17:00 (8:30~受付)

※新型コロナウイルス感染症の状況及び特定家畜伝染病の発生状況等次第では、オンラインのみの研修会に変更するなどの場合があります。

(2) 場 所 酪農学園大学動物医療センター

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地 TEL 011-388-4601

4 研修内容

- (1) OPU-IVFによる胚生産技術の理論と現状(講義)
- (2) と体生殖器を用いたOPU技術の習得(実習)
- (3) 生体からのOPUの実施方法(実習)
- (4) OPU後の体外受精関連技術(ビデオ視聴)

5 講師(順不同)

- (1) 今井 敬 氏(酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授)
- (2) 杉浦 智親 氏(酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 動物生殖学ユニット 助教)

6 募集要項 対面：5-10名、遠隔：30名（初・中級）

- (1) 全国でウシの繁殖業務に携わっている獣医師・家畜人工授精師
- (2) 受講後アンケート（閉会式時）に必ずご回答いただける方
- (3) 受講後営利目的なしに地域で指導できる方
- (4) 応募者多数の場合は選考にて受講生を選定するものとする

7 参加費用

- (1) 研修会の受講料は無料
- (2) 研修会受講のために必要な交通費、宿泊費、ウェブ環境等は受講生が各々負担するものとする

8 持ち物 作業着、帽子、雨具、防寒具、マスク、昼食 等

- (1) 普段農場で使用している衣服、長靴等の持ち込みはご遠慮ください。
- (2) 防護服及び長靴は会場準備します。サイズを申込書にてお知らせください。
- (3) 昼食は各々でご準備ください。

9 参加申込 令和4年11月10日(木) 受付分まで

- (1) 受講をご希望の方は、別紙「研修会申込書」に必要事項をご記入の上、E-mail(申込書をメールに添付)で事務局あて事前申し込みをお願いします(FAX不可、当日参加不可)。
- (2) 締め切り後、選考ののちメールにて受講の諾否及び動画配信用URLを通知いたしますので、受信用メールアドレスを必ずご記入ください。
※メールアドレスの記載不備等により、選考結果や動画配信用URLのメールが送信できない事例が多発しております。恐れ入りますが、申し込みご本人様よりリターンメールが受信できるメールアドレスからの送信をお願いします。

10 申込先 公益社団法人 畜産技術協会 担当：管理部 企画課 渡邊

TEL：03-3836-2301 E-mail：oubo@jlta.jp

11 その他

- (1) 防疫の関係上、受講者は11月15日(火)以降、海外に渡航、滞在せず、12月3日(土)から研修会終了までの期間、他の畜産関係施設等に立ち入らないようお願いします。
- 12 新型コロナウイルス感染症対策として下記にご協力をお願いいたします
- (1) 受付にて非接触型体温計による検温と手指の消毒を実施します
- (2) 下記に該当する方はご出席をご遠慮ください
 - ① 発熱症状(37.5度以上)のある方
 - ② ご家族に発熱症状(37.5度以上)のある方
 - ③ 2週間以内に発熱や感冒症状で医療機関を受診された方
 - ④ 2週間以内に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と認定された方
- (3) 受講中はマスクの着用をお願いいたします
- (4) 受講中に体調不良になった場合は、近くのスタッフに速やかに申し出てください
- (5) 会場は感染予防対策を十分に行いますが、万が一、出席者の中に感染者が出た場合には、当協会からその他の出席者に対して連絡を取り、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡します。また、濃厚接触者となった場合は、接触してから最長7日間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることをご理解願います。
- (6) 受講にあたり、万一新型コロナウイルス感染症に感染された場合も当協会及び酪農学園大学は責任を負いません。受講予定の方は、感染防止対策に万全を期していただきますようお願い申し上げます。

タイムスケジュール

【令和4年12月6日(火)】

時間	項目及び内容	場所
8:30～ 9:00	受付	動物医療センター 臨床講義室
9:00～11:00	【講義】 OPU-IVFによる胚生産技術の理論と現状 今井 敬 教授	
11:00～12:00	【実習】と体生殖器を用いた OPU 技術の習得 今井 敬 教授	
12:00～13:00	昼 休 憩	
13:00～15:00	【実習】 生体からの OPU の実施方法 杉浦 智親 助教	動物医療センター 牛診察室
15:00～16:00	OPU 後の体外受精関連技術 (ビデオ視聴) 今井 敬 准教授	動物医療センター 講義室
16:00～17:00	ディスカッション 今井 敬 教授・杉浦 智親 助教	
17:00～17:30	閉 会 式 アンケート記入及び回収	

※ 時間と内容は変更になる場合があります

※ 連絡先 酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 動物生殖工学研究室 担当 今井 TEL 0985-58-7655

【注意!!】

新型コロナウイルスなどの感染が拡大した場合、本研修会をやむを得ず中止する場合があります。その際は、受講決定者に対して個別に申請していただいた E-mail アドレスに、ご連絡します。

【協会からのお知らせ】

研修会開催要領、参加申込書につきましては、当協会ホームページでもダウンロードが可能です。
また、今後の研修会につきましても、ホームページで随時更新予定です。
公益社団法人 畜産技術協会 HP : <http://jita.lin.gr.jp/> News&Topics をご確認ください。
皆さまのご参加をお待ちしています！